

## 三菱バス乾燥・暖房・換気システム (壁取付タイプ)

形名

V-130BK<sub>2</sub>-RN

# バスカラット

### 取付工事説明書

### 販売店・工事店さま用

- 本製品は住宅用です。業務用途ではご使用できません。
- 取付工事を始める前に、必ずこの取付工事説明書をお読みください。
- 取付工事は、販売店・工事店さまが実施してください。(お客さま自身で工事しないでください)

本製品の施工にあたっては、地域により防災上での制限がありますので、詳細は行政官庁または所轄の消防署にお問合せください。

- 別冊の「取扱説明書」はお客さま用です。必ずお渡しください。

## 安全のために必ず守ること

- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。



**警告**

誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの



**注意**

誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの



**警告**



**注意**

	<p>内釜式風呂を据付けた浴室には取付けない</p> <p>排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす原因になります。</p>
	<p>改造や必要以上の分解はしない</p> <p>火災・感電・けがの原因になります。</p>
	<p>交流100Vを使用する</p> <p>直流や交流200Vを使用すると火災や感電の原因になります。</p>
	<p>指示に従う</p> <p>メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないように取付ける</p> <p>漏電した場合、発火の原因になります。</p>
	<p>アースを確認</p> <p>アースを確実に取付け、漏電遮断器を設ける</p> <p>故障や漏電のときに感電の原因になります。</p>

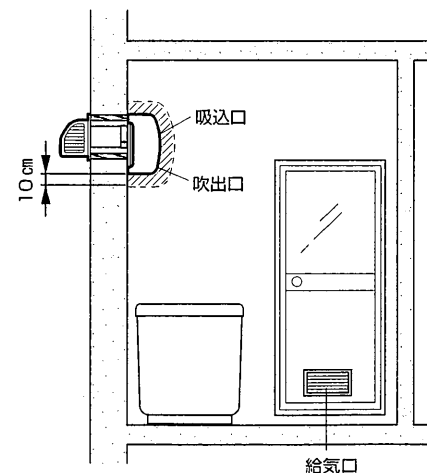
	<p>指示に従う</p> <p>本体は十分に強度のある所を選んで確実に取付ける</p> <p>落下により、けがをすることがあります。</p>
	<p>電源コードの接続は確実に行う</p> <p>不確実な接続は接続部が過熱して発火するおそれがあります。</p>
	<p>配線工事は電気設備基準や内線規程に従って安全・確実に行う</p> <p>接続不良や誤った配線工事は感電・火災のおそれがあります。</p>
	<p>衣類吊下げ用パイプ(市販品)は、本体から450mm以上離して取付ける</p> <p>本体に近づけすぎると、衣類が変色・変質のおそれがあります。</p>
	<p>部品の取付けは確実に行う</p> <p>落下により、けがをすることがあります。</p>
	<p>取付けの際は手袋を着用する</p> <p>着用しないと、けがをすることがあります。</p>
	<p>取付け後、長期間使用しないときは、本体の主電源スイッチか分電盤ブレーカーを切る</p> <p>絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。</p>

## 取付け前のお願い

- この製品は、戸建て住宅の浴室の壁面取付け専用です  
集合住宅でのご使用、浴室以外の場所への設置、天井面への取付けはしない。  
法規制に適合しないことがあります。
- 製品の質量は約8.4kgです  
取付ける壁面や既設の換気口(木枠)が十分に強度のあることを確認してください。  
状況によっては補強工事や追加の部材が必要になることがあります。
- 製品の取付けには、下記の規制がありますので、あらかじめご確認ください  
地域により防災上の制限(火災予防条例にもとづく指導)が異なりますので、所轄の行政官庁または消防署へお問合せください。

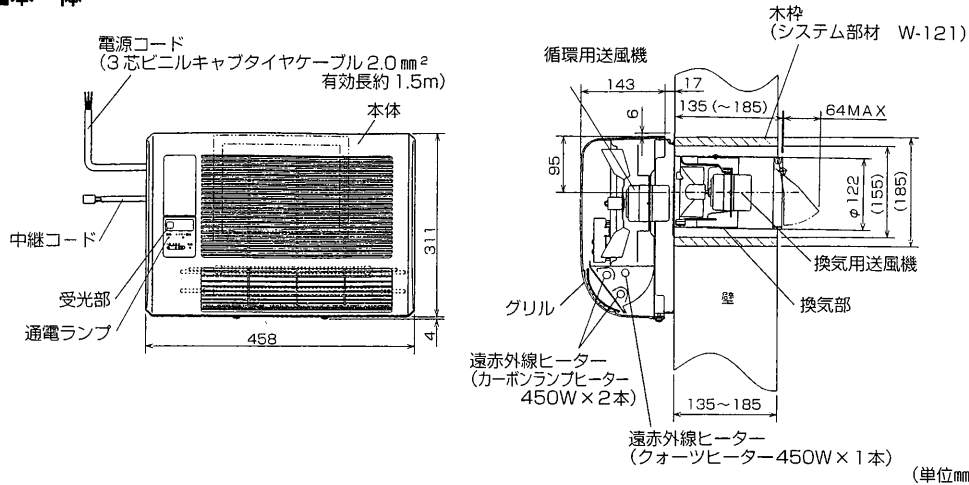
- 指定する寸法で設置すること。
- 本体は壁面に堅固に取付けること。
- 浴室内への温風吹出口および空気吸込口前方10cm未満の範囲内には造営材など(乾燥する衣類を含む)を設けない。
- 漏電遮断器を設けること。
- 浴室換気扇からの取替の場合、漏電遮断器の電流容量と電源電線の太さ(φ1.6mmまたはφ2.0mm)を確認し、不適合の場合は交換してください。

- 浴室の標準適用サイズは1坪タイプ用(1.6m×1.6m)です  
浴室が広くなると、暖房・乾燥効果が減少します。
- 強い振動や衝撃を与えない  
ヒーターが破損し、感電・けがの原因になります。
- スチームサウナ付の浴室には取付けない  
高温のため故障の原因になります。
- 効果的に換気するため給気口を設ける
- リモコンは浴室の外(脱衣室など)に取付ける  
故障の原因になります。
- 高温(40℃)以上になるところに取付けない  
高温では温度ヒューズが溶断して使えなくなります。
- 温泉の浴室やプール等で使用しない  
故障の原因になります。
- 本体を傾けて取付けない  
ヒーターの寿命が短くなったり、故障の原因になります。
- 有機溶剤やスプレーを使う場所には取付けない  
故障の原因になります。

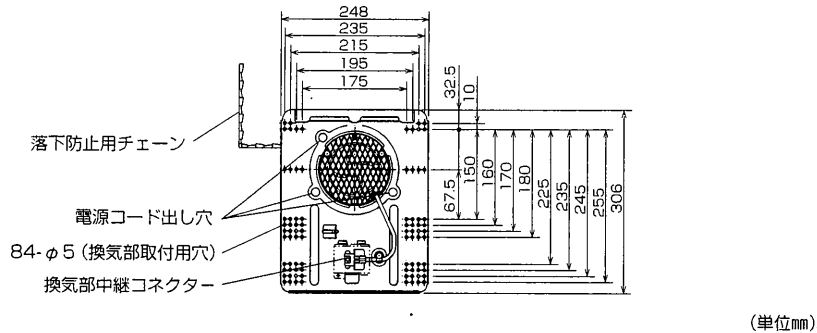


# 各部のなまえと寸法 (外形寸法図)

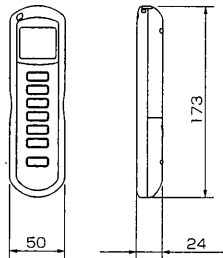
## ■本体



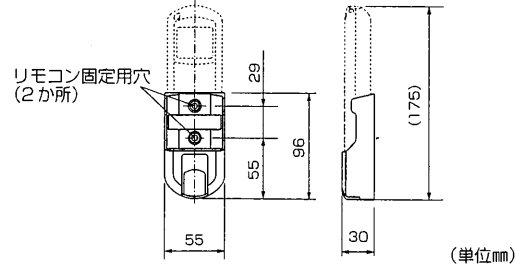
## 換気部詳細



## ■リモコン



## ■リモコンホルダー

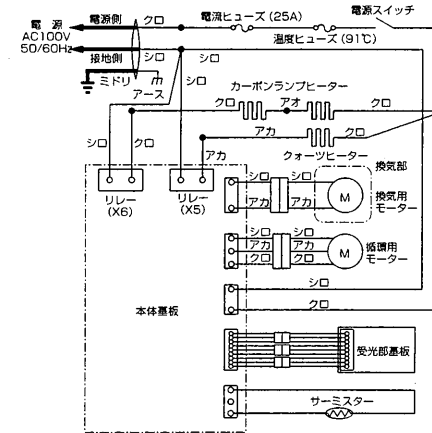


お願い リモコンは浴室内に設置しないでください。

## ■付属品

リモコン.....1個	換気部取付けネジ.....6本 (4×50)
リモコンホルダー.....1個	本体固定用ネジ.....2本 (4×12)
単4乾電池.....2個	リモコンホルダー取付ネジ.....2本 (4.1×25)
取扱説明書.....1冊	落下防止用チェーン固定ネジ.....1本 (4.1×20)
取付工事説明書.....1冊	落下防止用チェーン固定ワッシャー.....1個

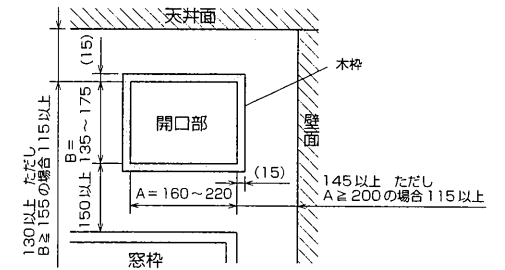
## ■結線図 ※太線部分を施工してください。



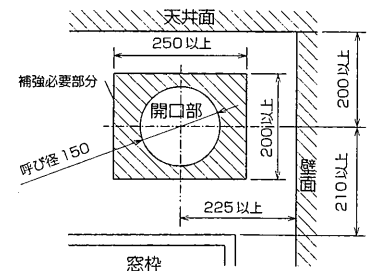
## ■設置可能な開口位置・寸法 (単位mm)

※下記は壁面・天井面より本体まで100mm確保できる寸法となっています。

### 1.木枠の場合



### 2.丸穴の場合



## ■現地で準備していただく部品

AC100V 電源電線	600V 定格、VVFケーブルφ 1.6またはφ 2	適宜	
アース線	銅線直径φ 1.6以上 (または断面積が 1.25 mm <sup>2</sup> 以上)	適宜	アース工事用
アース棒		適宜	
屋外ウェザーカバー	P-12CVP	適宜	外壁面取付け用
棒端子		2個	電源接続用
防水ジョイントボックスまたは防水コンセント		1個	
木枠	W-121	適宜	本体取付け用 (角穴取付の場合)
衣類吊下げ用パイプ	耐荷重 4 kg以上 不燃性、耐食性のあるもの	適宜	衣類乾燥用

# 取付方法

## 1 取付け前の準備

### 既存の換気口を利用する場合

- 1 既設の換気扇または換気ギャラリを取外す
- 2 右図に示す開口があることを確認する
  - 開口は天井や壁面から所定の位置が確保できていることを確認する。
  - 施工できない場合や法規制を満足できない場合があります。

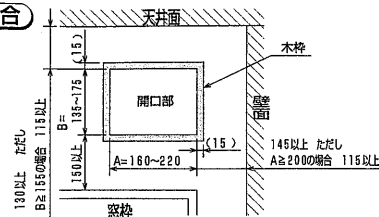
### 新規に開口をあける場合

- 1 ヒーターの輻射が洗い場側に向くように開口の位置を決める
  - ヒーターの輻射角は垂直面に対し約45度です。
- 2 浴室の壁面に角穴または丸穴をあける
  - 角穴の場合は、当社システム部材の木枠(W-121)を使用する。製品質量約8.4 kgのため、木枠は浴室の壁面にしっかりと固定してください。木枠の取付けは木枠の説明書をお読みください。
  - 丸穴の場合は壁厚に応じて接続パイプ(呼び径150)をご用意ください。

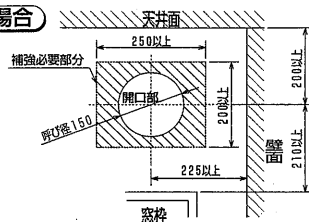
### ■設置可能な開口位置・寸法 (単位 mm)

\*下記は壁面・天井面より本体まで100mm確保できる寸法となっています。

#### 木枠の場合



#### 丸穴の場合



[単位 mm]

壁厚>185	一般配管用ステンレス鋼管 (JIS G 3448)	呼び径
壁厚≦185	塩化ビニル管の薄肉(VU), または一般配管用ステンレス鋼管 (JIS G 3448)	150

- 使用する接続パイプにより開口寸法が異なります。
- 雨水の浸入等を防ぐため壁穴とダクトとのすき間のコーティングは確実に行ってください。
- 背面は十分な補強を行ってください。
- 壁厚>185 mmの場合は屋外に向けて下り勾配になるように1/100の傾斜をつけてください。

### 警告

メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないように取付ける

漏電した場合、発火の原因になります。

## 2 換気部の取付

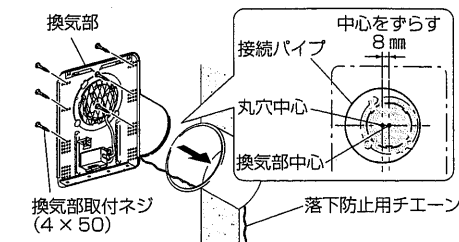
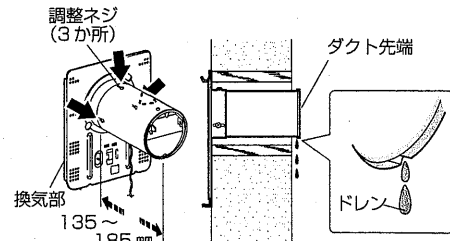
- 1 壁厚に合わせてダクト部分の調整ネジを緩めて調整し、ネジを固定する
  - ダクトの先端が屋外側に出るように位置を決める。
  - 位置決め時に生じる長穴のすき間、パイプのあわせ部のすき間はアルミテープ(市販品)でふさぐ。
- 2 落下防止用チェーンを開口部に通し、換気部を取付ネジ6本で固定する

### 角穴の場合

- ネジ締め位置は、なるべく木枠の厚み中央にある穴を使用して取付ける。
- 木枠に付属の取付ネジを使用する。

### 丸穴の場合

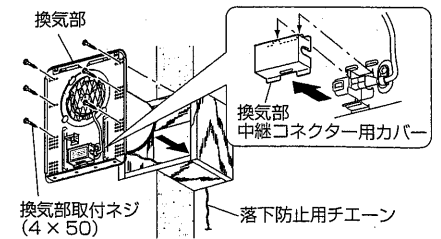
- 取付ける壁面は十分な補強を行ってください。
- 付属の取付ネジを使用する。
- 壁がタイルの場合はタイルが割れないよう目字にステンレス製のタイル用のネジ(市販品)6本で固定する。
- 丸穴の場合は電源コードを通すため、開口穴の中心をずらして(約8mm)取付ける。



### 角穴・丸穴共通

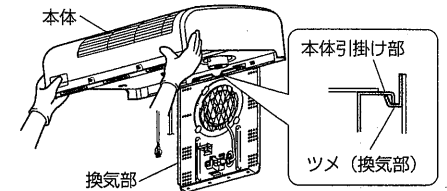
- 外気逆流防止のため、不要な穴はアルミテープでふさぐ。
- 水平に取付ける。本体が傾くとヒーターの寿命が短くなったり、故障の原因になります。

### 3 換気部中継コネクター用カバーを取りはずす

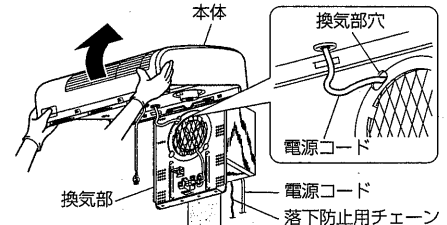


## 3 本体の取付

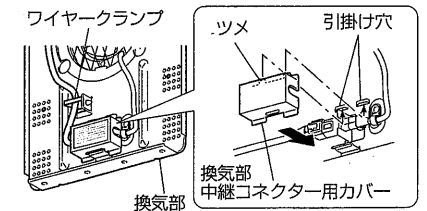
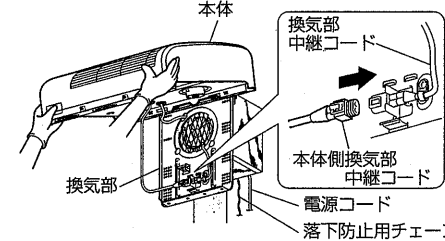
- 1 本体の引掛け部を換気部のツメ(2か所)に引掛ける
  - 本体は左右200mmスライドできます。適切な位置を確認します。
  - 本体が換気部からはみ出さないように引掛けます。
  - 確実に引っ掛けていることを確認します。



- 2 本体を手前に持ち上げて、電源コードを換気部の穴に通して押し込む
  - 本体を手前に持ち上げる際、手をかける位置によっては、本体が傾く場合があるのでバランスのよい位置を選んで持ち上げてください。

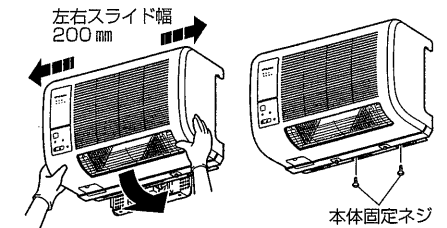


- 3 本体を手前に持上げた状態で、本体側の中継コネクターを換気部側の中継コネクターに差込む
  - カチッと音がするまでしっかり挿入する。



### 4 換気部中継コネクター用カバーを取付ける

- 5 本体側換気部中継コードをワイヤークランプに引掛ける



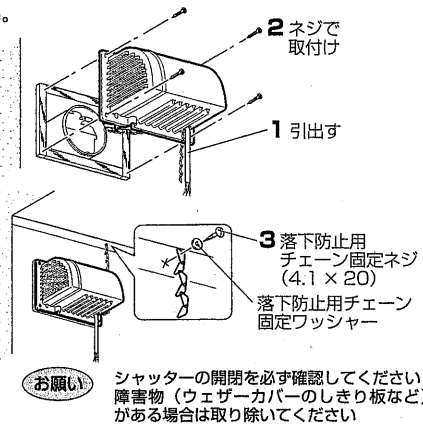
### 6 本体下部と換気部を付属ネジ2本で固定する

- 本体を換気部に降ろす際、電源コードがかみままないように注意する。
- 本体のスライド位置により、ネジ固定位置が異なります。

## 4 ウェザーカバー (システム部材) の取付け (屋外側)

雨水の浸入を防ぐため、ウェザーカバーは必ず取付けてください。

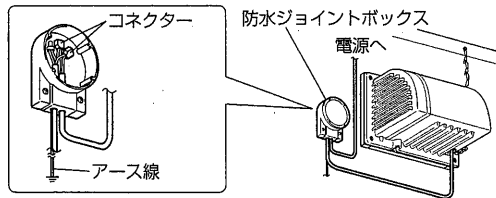
- 1 ウェザーカバーのコード穴から電源コード・落下防止用チェーンを取り出す
  - コード穴が小さい場合は、別途穴あげが必要です。
- 2 外壁面側にウェザーカバーをネジで取付ける
  - くわしくは、ウェザーカバーの説明書をご覧ください。
- 3 外壁面側の補強された部分に落下防止用チェーンを取付ける
  - 落下防止用チェーンは、ワッシャーにネジを通して木枠以外のしっかりした補強された部分に取付ける。万一のための落下防止用です。
  - 落下防止用チェーンは、たるまないように取付ける。



## 5 電気工事

- 電源接続は必ず屋外側で行う。
- 電源は必ず分電盤の専用ブレーカーに接続する。
- 漏電遮断器は 20A のものを使用する。
- プラグの使用、コンセント部分への差込みはしない。
- 壁スイッチを経由した電源の接続はしない。  
壁スイッチの焼損や本体の誤動作、故障の原因になります。
- D 種接地 (アース) 工事を実施に行う。
- 付属の電源コードの白色側を屋内配線の接地側に接続してください。
- 屋内配線に使用する電線は  $\phi 1.6$  mm または  $\phi 2.0$  mm を使用する。  
径が小さいと電線の焼損や火災の原因になります。

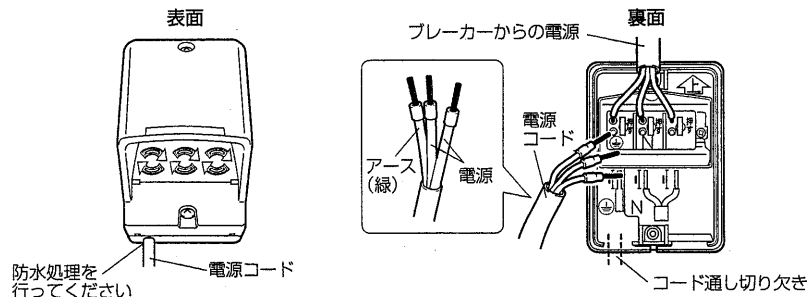
### ■ 防水ジョイントボックス (市販品) 内で結線する場合



### ■ 防水コンセント (市販品) の速結端子台に接続する場合

- 電源コードの先端に棒端子 (市販品) を取付け、防水コンセント裏面の速結端子に直接接続する。

#### 防水コンセント



### ⚠ 警告

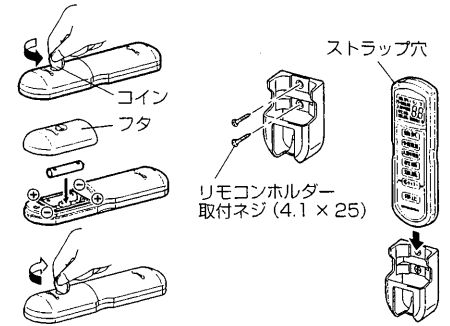
- 交流 100V を使用する
- アースを確実に取付け、漏電遮断器を取付ける (感電や火災の原因)

### ⚠ 注意

- 電源コードの接続は確実に
- 配線工事は電気設備技術基準や内規に従って安全・確実に行う (火災や感電の原因)

## 6 リモコンホルダーの取付け

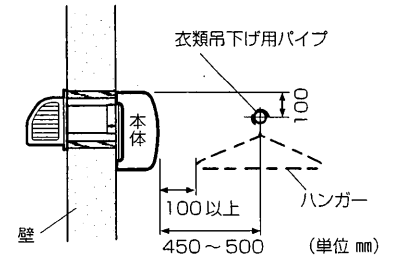
- 1 リモコンに付属の単 4 乾電池 2 本を入れてフタをする
  - $\oplus$   $\ominus$  をよく確かめてから正しく入れる。
  - フタはしっかり取付ける。
- 2 浴室入り口付近の脱衣室側にリモコンホルダーを付属のネジ 2 本で固定する
  - 浴室内には取付けない。  
長時間の放置は故障の原因になります。
- 3 リモコンをリモコンホルダーに取付ける
  - リモコンにストラップを取付けて、フックに掛ける方法もあります。



## 7 衣類吊下げ用パイプ (市販品) 取付け

右図の位置に取付ける

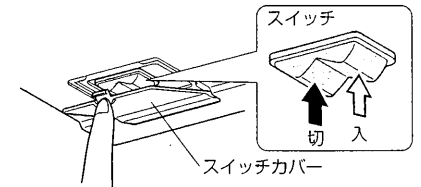
- パイプ (市販品) は、1 本当たり耐荷重 4 kg 以上で、耐食性・不燃性のものを使用する
  - 取付け部分が十分に強度のあることを確認してください。
  - パイプの取付け位置は必ず図の寸法で取付ける  
指定以外の寸法で取付けると、乾燥時間が長くなります。
- お願い** 本体から吊下げパイプまでの距離は 450 mm 以上離し、かつ、ハンガーを掛けたとき 100 mm 以上確保できる寸法で取付けてください。  
近づけすぎると衣類の変色や変質の原因になります。



## 試運転

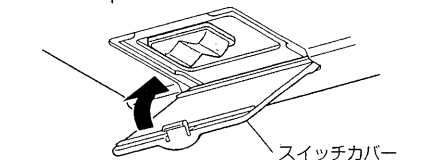
- 取付工事が終わりましたら、再度結線が間違っていないか、ご確認ください。
- 次に、取扱説明書の「使いかた」を参照して、お客さま立ち会いで全運転モードの試運転を行い、下記をご確認ください。

- 1 本体は確実に取付けられていますか?
- 2 リモコンを操作して、取扱説明書どおり動作しますか?
- 3 換気ファンは運転していますか?
  - 換気部中継コネクタが正常に接続されていないと運転しません。
- 4 運転中に振動や異常音がありませんか?



### ■ 本体の主電源スイッチの操作方法

- 1 カバーを開ける
- 2 スイッチを切替える
  - 主電源スイッチを「入」にすると通電ランプ (緑) が点灯します。(ブレーカー「入」の場合)
- 3 カバーを閉じる



● 引き渡しまで期間がある場合は、試運転確認後、リモコンの電池を抜き、取扱説明書とともにお客様にお渡しください。

**三菱電機株式会社**

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号 電話 0573-66-2111

この説明書は、再生紙を使用しています。